

(均一区間)

市バスの運賃値上げ回避へ

舞台裏を追う

6月4日京都市会 本会議 代表質疑。自民党議員の質疑に対し、松井市長から、市バスの運賃値上げを回避するとの方針が示されました。

コロナ禍も明け、京都市には多くの観光客の皆様が訪れ、市バスにもたくさんの方々が乗ってくださる状況に戻りつつあります。一方で、京都市交通局の経営状況は、コロナ禍における3年間で厳しいダメージを抱えました。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻に端を発した原油高や昨今のバス運転士のなり手不足など、深刻な状況が取り巻いており、『市バスの運賃値上げは不可避』の状況にありました。

市バスの運賃値上げは市民生活に影響があるのは必至。岸田内閣は物価高騰を上回る賃上げ社会を実現し、好循環社会を生み出すとの方針を掲げており、定額減税など様々な政策を打ち出していますが、未だ、社会に浸透しきっていないのも事実です。

そこで松井市長は、先の市長選挙時に、市バスの運賃値上げを回避するとの公約を掲げられました。自民党議員団としても、国土交通省をは

じめ国に要望を重ねてきました。その結果、国から財源を獲得し、その財源を活用したバス路線維持補助金などが第二次編成予算に盛り込まれました。なお、財源の獲得には、国との太いパイプを持つ松井市長、国から出向している坂越副市長の力も大きかった事は間違いありません。ここに交通局のなりふり構わない経営改善も合わさり、松井市長の『市バスの運賃値上げ回避』の決断に繋がったものであります。



12月導入予定の釣り銭方式の運賃箱(市バス)

令和6年5月

市会報告

(第二次編成)

京都市長選挙が2月4日に執行され、16年ぶりに新人の松井市長が誕生しました。例年、当初予算は2月市会に提案されますが、就任日が2月25日ということもあり、当初予算においては義務的な事業や継続事業

に加え、迅速に対応が必要な防災・減災対策、観光課題対策などの強化に係る予算が提案され、無事に可決されました。(第一次編成)
そして、令和6年5月市会に提案された「第二次編成」では、『市民

第一主義で人々から選ばれるまち京都』『突き抜ける魅力のある文化首都・京都』『文化首都を支えるつよい経済の復活』『すべての人に「居場所」と「出番」のある京都』『全国に先駆ける京都型共生社会モデルの形成』『いのちとくらしを守る防災・減災対策』『政策推進に当たっての基盤づくり』との方針のもと、公約実現に向けた事業等に係る予算が計上されており、予算規模は102億円です。
一方で、5月市会の開会日でもあ

る5月31日に維新・京都・国民会派の朝倉亮議員(1期目・中京区)が突如辞職。
なお、中京区では、欠員が出たことで、補欠選挙が実施される予定です。よく問い合わせいただきますが、今回の補欠選挙に係る予算は約6,000万円です。この予算は京都市の財政調整基金から取り崩されます。



既存住宅の取得支援による 若年・子育て世帯の 定住・移住を全力応援!



京都に住み続けたい、住んでみたいと考える若年・子育て世帯の定住・移住を促進するため、第二次編成では、3億5,000万円の予算(令和7年度まで)が組まれ、一件あたり最大200万円の『住替え奨励金』制度を創設。他都市でも類似の制度がありますが、全国最大規模の交付額です。

(参考) 堺市：最大120万円、
北九州市：最大50万円
※ただし条件あり



- ① 基本額：100万円
- 条件を満たす世帯に対して基本額として100万円交付。
- ア) 未就学の子ども(妊娠を含む)がいる世帯
- イ) 築5年以上かつ購入価格500万円以上の既存住宅を自己居住用として購入
- ウ) 既存住宅購入後に市内事業者が施工するリフォーム工事を実施

- ② 加算額：最大100万円
- ①の基本額に、以下のいずれかを満たすごとに50万円を加算。
- ※ただし最大2項目100万円まで。
- ア.子どもが2人以上いる世帯
- イ.購入する既存住宅が京町家又は管理計画認定を受けたマンション
- ウ.市外からの転入

その他の特徴として、すでにスタートしている『まちの匠・ぷらす』制度や、他の改修補助金と併用して活用すれば、条件によりますが最大900万円の補助金を受けることができます。

- (1)「まちの匠・ぷらす」などの他の改修補助金の併用可能
- (2)独立行政法人住宅金融支援機構のフラット35の金利優遇を適用
- (3)リフォームの相談や事業者の紹介、他の改修補助金の案内、本奨励金の申請受付を行うワンストップ窓口の設置

自民党京都市会議員団としても、引き続き、京都市の人口流出・減少問題に対応する施策の充実・促進に全力で取り組んで参ります。

京町家など保全のため 固定資産税減免制度創設等を



「京都市発」国への提言施策として 他都市でも先行事例あり

上京区
寺田一博 議員

固定資産税など所有者の経済的負担を いかに軽減するか総合的に判断を

■寺田一博議員（質問）本市は、京町家など伝統的建造物について、相続税の減免制度を認めるよう、毎年、国に要望していますが、実現の目処は立っていません。そこで、まずは本市が固定資産税の減免制度を創設し、国へ提言を行ってはと考えます。既に他都市でも伝統的建造物に対し、土地建物の固定資産税を減免しているところもあり、まさに京都創生の柱にもなるのではと思います。例えば、10年単位で申請してもらい、実際に10年間京町家を維持しなかった場合には、遡って固定資産税を満額支払っていただく。このような固定資産税の減免制度の創設は、町家の維持に大きな決め手となると考えます。市長におかれましては、是非この新制度へのご決断を期待するところです。

■松井孝治市長（答弁）京町家の保全・継承は、京都の貴重な財産を守るという高い公益性を有する一方で、維持修繕費や相続税、固定資産税などによる所有者の経済的負担が主要な課題の一つとなっております。



（改修前）



（改修後）

寺田議員御提案の固定資産税の負担軽減措置も含め、支援措置や規制の在り方をあらゆる観点から検討し、効果的な方策を見出してまいります。また、同じ課題を抱える全国の都市とも連携し、引き続き、国へ施策の提言を行ってまいります。

特別顧問職を新設しアドバイザーに 政策ごとに専門性のある人材登用を

■寺田一博議員（質問）大所高所から政策を実現するため専門的な知見を有する方々、いわゆる「智の巨人」と申しますか、アドバイザーが必要と感じるところです。市長ご自身の経歴や人脈を活かして、政策毎に専門性を有する方々に本市の進む方向性をお示しいただくことは、本市職員にとっても大きな励みとなり、視野が広がることでしょう。相手のあることで簡単ではないかと思いますが、是非前向きにご検討をよろしくお願いいたします。

■松井孝治市長（答弁）「特別顧問」を新たに設置し、私自身がこれまで関わらせていただいた中で、各方面において卓越した見識をお持ちの方々にご協力をいただくことで、本市の特色と魅力を活かしたまちづくりを一層進めるとともに、職員育成や組織風土改革にも繋げてまいりたいと考えております。

●寺田一博議員の質疑項目●

- 1 令和6年度第二次編成予算について
- 2 災害に強いまちづくりについて
- 3 西陣地域の活性化と京町家の保存について
- 4 市長の人脈を活かしたまちづくりについて

【代表質疑】

5月市会

（6月4日）

市長就任から3か月 市民対話から得たものは



市政推進のため施策の立案と それを市民へ伝える不断の努力を

右京区
田中たかのり 議員

次期総合計画の策定に向け未来像を構築

■田中たかのり議員（質問）市長就任から3ヶ月、市民との対話でどのように感じ、どのような施策を実行するのかを明確に示すとともに、しっかりと伝えることが重要であると思いますがどのように考えておられますか。

■松井孝治市長（答弁）市長就任以来、様々な方々との対話を重ねる中で、京都が持つまちのポテンシャル、素晴らしさを改めて強く感じています。一方、京都が抱える課題も直接肌で感じています。こうした課題に正面から向き合い、解決した先にある未来像をお示しし、共感いただき、市民との協働で実現していくことが私に課せられた重要な使命と考えています。この秋からの次期総合計画の策定過程において、市民や京都に関わる方々と課題を共有し、未来像を創り上げてまいります。

地域コミュニティの輪を広げる取組を

■田中たかのり議員（質問）時代に合わせた地域コミュニティの再構築が求められています。私は、様々な手段を活用し、地域に関心を持ってもらい、住民みんなで地域を創っていきこうという気持ちを醸成していくことが必要だと思いますが、どのようなお考えですか。

■吉田良比呂副市長（答弁）住民みんなで地域を創っていきこうという機運の醸成が必要であると認識しています。地域の皆様がそれぞれ工夫して取り組まれている

ることをあらゆる手段で広く伝え、様々な人が、地域活動に参加しやすい場を増やし、取組の輪を更に広げること全力を尽くしてまいります。

経済的支援を含む子育て施策の発信強化を

■田中たかのり議員（質問）近年、多くの自治体では、子育て環境（出産・育児・教育）の充実を一番の課題として取組が進められています。京都市でも、様々な取組を進めているものの、情報が届いていないというお声も聞きます。「安心して子どもを生み育て学びやすいまち」とはどのようなまちとお考えですか。

■松井孝治市長（答弁）結婚・出産・子育ての希望を持つ全ての方に寄り添い、妊娠前から子ども・若者まで切れ目ない支援を行い、学校教育、住まい、仕事、地域支援など、あらゆる政策が子どもと家庭の幸福につながり、京都全体で子どもをはぐくむまちであると考えています。経済的負担軽減を含め、必要な方に必要なタイミングで情報をお届けできるよう改善に努め、全庁を挙げて更なる子育て支援を行ってまいります。



子どもたちの未来にできることは

●田中たかのり議員の質疑項目●

- 1 京都市の目指す方向性、都市像について
- 2 京都市の発展に繋がる組織と職員の働き方について
- 3 時代に合わせた地域コミュニティの再構築について
- 4 更なる生み育て学びやすいまちの実現について
- 5 右京区南部エリアの課題と今後の展開について（要望）

観光特急バスがスタート 市長公約通り市バス運賃値上げ回避へ

自民市議団の力で国の財源確保 市民優待価格の実現へ弾みを

市民の足である市バス均一区間運賃死守 観光課題の解決はいかに？

■平山たかお議員（質問）物価高騰の中、交通局としても厳しい経営環境が取り巻いていますが、市民の皆様の足を守るとの観点からも市バスの運賃値上げは回避して欲しい。松井市長のご決断を伺います。6月1日から生活路線の混雑緩和を主目的とした「観光特急バス」が運行開始。観光の恩恵を実感して頂いてこそ、観光課題の解決、市民生活と調和の取れる観光に繋がります。「市民優待価格」や公共施設などの市民割引、深刻なマナー問題等が発生している地域への対策はいかがですか？

■松井孝治市長（答弁）自民党議員団の力添えも賜り、国の財源も確保できました。選挙でお約束した市バスの均一区間の運賃改定を回避することといたします。引き続き、市バスと民間バスのネットワークを守っていきます。「市民優待価格」に関しても国土交通省と、私、坂越副市長、交通局がそれぞれのパイプを通じ、全国初のパイロットプロジェクトとなるが全力で取り組



混雑している祇園花見小路

東山区 平山たかお 議員

みます。また、マナー問題等に関しては花見小路通における啓発員の増員等、市民の皆様に実感いただける観光課題対策を検討いたします。

インフレ基調の財政運営への転換を

■平山たかお議員（質問）令和5年度決算の見通しはいかがですか。経済がデフレからインフレへ基調が変わりつつある中、これまでの行財政運営ではなく、まずはデフレマインドからの脱却を果たす財政運営をすべきと考えますがいかがですか。

■松井孝治市長（答弁）令和5年度決算は、少なくとも過去負債の返済の目安である25億円以上の黒字を確保できる見込み。議員ご指摘の通り、コストカット型の行財政改革からの転換を図り、効果の高い施策に重点的に予算配分を行うことが必要です。

東山区を特区的施策で行政区維持へ

■平山たかお議員（質問）東山区を人口減少課題解決に向けたモデル地域とし、行政区としても必ず維持し、特区的な意味合いでも、あらゆる施策・対策、法整備を講じるべきと考えますが、いかがですか。

■都市経営戦略監（答弁）東山区のような人口減少の著しい地域においては、議員ご指摘の通り、あらゆる先進的な取組を進める事が大変重要です。若者・子育て世代も住みやすくなる地域づくりを進め、他の地域にも広げてまいります。

●平山たかお議員の質疑項目●

- 1 市バスの運賃値上げ回避について
- 2 オーバーツーリズムいわゆる観光課題対策について
- 3 災害に強いインフラ整備について
- 4 今後の新しい行財政運営について
- 5 東山区のまちづくりについて

予算特別委員会総括質疑ダイジェスト

Q.津田大三議員 政策を実現するに当たっては専門的な知見を有する方のアドバイザーが必要ではないでしょうか。

A.松井市長 各分野において卓越した見識、そして人格をお持ちの方に特別顧問としてご協力いただきたいと考えています。市役所の職員、また私にとってもいろんな意味で大所高所からアドバイスを頂く共通の人的資源として、人数は5名程度、7月1日に任命予定です。

Q.下村あきら議員 商店街振興のために、日常的に地域の方が利用していただく環境づくり、学区をどのように活かすかということが大切だと思いますがいかがですか？

A.松井市長 商店街の活性化、地域力を高めていくために、商店街ごとに地域参加を促すような枠組みとして、新商品創出促進事業、空き店舗を活用したスタートアップ拠点設置事業などの『商店街コラボ事業』を展開しており、ぜひ活用していただきたいです。

Q.谷口みゆき議員 中小企業への担い手不足解消につなげていく支援事業の中で、産休育休が取りやすくするための働き方改革についても、企業に向けて働きかけをする必要があるのではないかと思います。京都市移住・定住応援団との公民連携の推進を踏まえて、国との連携は図れないのでしょうか。

A.吉田副市長 企業における担い手の確保、定着ということを進めていくうえで、働きやすい環境を作っていくことは重要な視点だと思っています。国の関係省庁それぞれの情報について、経営者や働いておられる方へタイムリーに届けることを徹底し、「定住・移住応援団」の具体的な提案

市政のリーダーシップ 自民党市会議員団

■議長 西村義直 ■団長 橋村芳和
■政策委員長 森田 守 ■監査委員 山本恵一
■後期高齢者医療広域連合会議員 下村あきら
■都市計画審議会委員 棕田隆知 みちはた弘之 田中たかのり 井上よしひる

■自民党議員団の所属委員会

	常任委員会					市会運営委員会	特別委員会		
	総務消防	環境福祉	文教はぐくみ	まちづくり	産業交通水道		予算 決算		
委員長			井上よしひる		平山たかお	寺田 一博*			
副委員長	しまもと京司	森田 守		さくらい泰広			①みちはた弘之	②田中たかのり	③
委員	田中 明秀	橋村 芳和	津田 大三	富 きくお	寺田 一博	田中 明秀*	橋村 芳和	富 きくお	寺田 一博
	西村 義直	谷口みゆき	みちはた弘之	山本 恵一	下村あきら	しまもと京司	田中 明秀	津田 大三	山本 恵一
	山本しゅうじ		田中たかのり		棕田 隆知	みちはた弘之	しまもと京司	さくらい泰広	西村 義直
						井上よしひる	森田 守	井上よしひる	下村あきら
						*理事	谷口みゆき	山本しゅうじ	棕田 隆知
									平山たかお

がありましたら国の方にも働きかけて参ります。
Q.井上よしひる議員 嵐山地域の観光集中対策として、ルートやエリアの分散化に取り組む必要があるのではないのでしょうか？

A.松井市長 AIカメラの設置など観光対策にICT技術を活用し、効果的な方策を検証・検討のうえ実行してまいります。市民生活と観光の調和促進プロジェクトチームを庁内に立ち上げ、嵐山を一つのモデルケースとして、京都全域の混雑緩和、分散化に取り組んでいきます。

Q.棕田隆知議員 市バスの混雑対策について観光特急バスは日本で一番最初ということになりました。課題解決先進都市として、将来を見据えた今後の交通対策について市長の考えをお聞かせください。

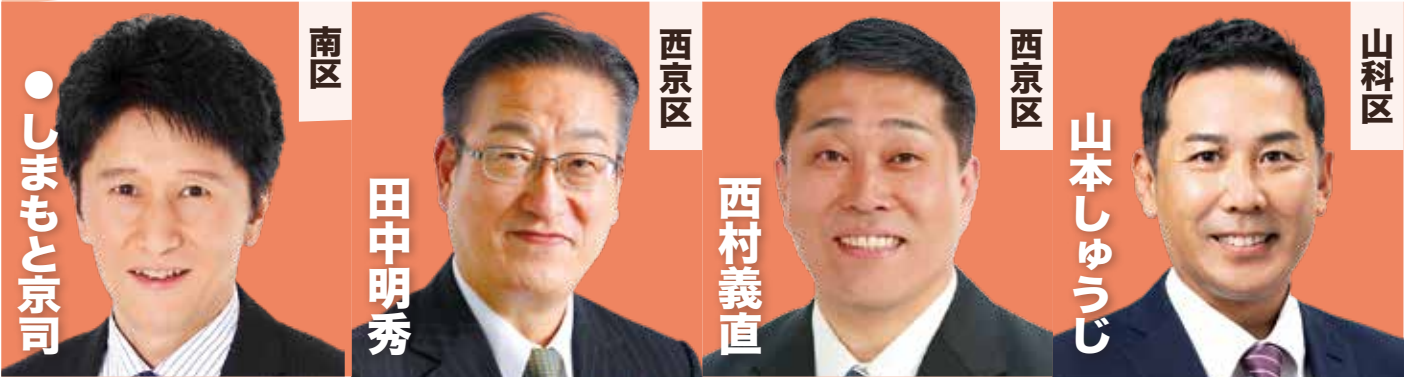
A.松井市長 市民優先価格というようなことを今、国土交通省とも相談し調整しています。住民をどのようにして認証していくのか。もしかするとマイナンバーカードの日本全国トップランナーになるかもしれません。新しい自治体改革の一環として身近な地域交通を通じて住民サービスをどうしていくのか考えていかなければならないと思っています。

Q.田中明秀議員 コロナ禍の中で止まっていたインフラ整備。必要な公共工事はやっぱり進めていかなければいけません。市民生活をいざという時に守っていく今後の市長の思いをお聞かせください。

A.松井市長 国民、市民、府民の命を守る、あるいは、今後の経済基盤という意味で必要なインフラというのはあります。いろんな公共インフラが遅れたというのは、その時は良かったかもしれませんが、結局あとの世代の京都の人たちがしわ寄せを受けた部分でもあるので、しっかり考えていかなければならないと思います。

総務消防委員会

総務消防委員会は市民生活の根底を支える税の課題や行財政改革の推進、人々の安心安全と生命・財産を守る救命救急と危機管理体制、そして全市総合的な都市経営戦略やデジタル化、国際交流他等々について議論しています。



自由民主党京都市会議員団

氏名の★は委員長、●は副委員長

常任委員会の議論と取組

令和6年度の常任委員会の構成が定まりました。京都市会では通年議会を採用しており、概ね2週間に1度、各常任委員会において活発な議論、調査がされています。主な取組は各常任委員会をご参照下さい。

皆様のご意見やご要望をお寄せください。

【自民党京都市会議員団】 〒604-8571 京都市中京区河原町御池 jimin3@nifty.com FAX.257-3091

まちづくり委員会

まちづくり委員会は都市計画局と建設局を担当し、若者・子育て世代の定住、地域交通の維持確保、災害対策のための道路や橋りょうの整備など、市民の皆様の大切な命と暮らしを守るための真摯な議論を行っています。



環境福祉委員会

環境福祉委員会では、地球温暖化対策の推進、ごみの減量化等の環境政策、また高齢者・障害者の福祉、生活保護、国民健康保険、医療等、市民の皆様の命と健康に関わる政策について議論してまいります。



文教はぐくみ委員会

文教はぐくみ委員会では、文化市民局、子ども若者はぐくみ局、教育委員会を担当します。「文化首都 京都」の実現に向けた文化芸術やスポーツの振興、地域コミュニティの活性化、また、子育て支援、子ども若者の健全育成などの政策について議論しています。



産業交通水道委員会

産業交通水道委員会では、オーバーツーリズムいわゆる観光課題対策や経済の再生・活性化、観光特急バスをはじめとした市民の交通手段でもある市バス・地下鉄、市民の命と健康を守る上下水道事業等に関する議論を行なっています。

